

ハルナグループ創業者

青木清志氏 お別れの会

【高崎】7月13日に馬県高崎市)でしめやかに営まれた(写真)。90歳で死去した青木清志氏(ハルナグループ創業者)の「お別れの会」が26日、ホテルメトロポリタン高崎(群



馬県高崎市)でしめやかに営まれた(写真)。90歳で死去した青木清志氏(ハルナグループ創業者)の「お別れの会」が26日、ホテルメ

トロポリタン高崎(群
んだ。
武井和夫群馬テレビ社長は「誰も考えない、誰もできないことを実行していくカリスマ的な経営者だった」と追悼。また羽佐間道夫ムーブマン相談役は「演劇的経営を提唱し、指導者として立派に後世への道をつくった」と別れを惜しんだ。青木清志氏の長男の青木麻生ハルナグル

最高経営責任者(CEO)は「社員、役員一同、創業者の遺志を受け継ぎ、一層信頼される企業へと成長できるように努めていきます」と謝辞を述べた。

青木氏は1996年に飲料メーカー、ハルナビレッジを設立。業界に先駆けて容量500ミリのペットボトルを採用し、受託生産で業績を伸ばした。2006年に社長を退任して会長となり、16年に名誉会長に就いた。20年に榛名美術を設立し、長年にわたり収集した絵画や彫刻を一般開放した。